

市長への提言 平成28年8月末日現在

件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
市職員の人件費の節約について	庁内における職員の連携を強化するため、2年を目処に職員の配置替えを行い、効率的に業務に取り組める体制を整えることで職員の残業ゼロを目指し、人件費節約につなげてください。	本市では、人材育成基本方針の中で、自ら考え行動する「自律型職員」の育成をあげ、組織としての目的意識を職員が共有し、効率よく仕事ができるような人材育成に取り組んでいます。職員の配置転換につきましては、勤続10年程度を目処に異業種の業務を複数経験できるよう毎年度、適材適所の配置に重点を置いた人事異動を行っております。今後も人材育成の取り組みや効率的な事務執行体制を構築するとともに、時間外勤務の縮減に向けて検討してまいります。	2016/7/8	2016/8/5	人事課
枚方市駅前ロータリーの虹色の装飾について	枚方市駅前ロータリーの植込みの間に多数の虹色の羽の風車のようなものが設置されています。虹色は性的マイノリティのシンボルでもありますが、市と性的マイノリティに何か特別の関係があるのでしょうか。	枚方市駅の南口駅前ロータリー中央の植込み(駅前花壇)にあります羽根風車は、鳥除け対策として花壇管理を委託している業者と協議し設置しています。この花壇では、以前より鳥害が多く発生しており、設置後は効果をもたらしています。虹色の色彩は「性的マイノリティ(LGBT)」のシンボルとして使用されることがありますが、今回の羽根風車はそのような意味合いを含んでおらず、花をイメージしたものとなっております。なお、本市では、性別に関わりなく、すべての市民の人権が尊重される社会の実現を目指しております。	2016/7/19	2016/8/12	道路河川管理課 公園みどり推進室
小学校の統合について	少子化に取り組む一方で、なぜ小学校を統合するのでしょうか。市は、少子化問題を改善しようと思っていないのでしょうか。	本市では、人口減少への対応等を図るため、平成28年3月に「第5次枚方市総合計画」と平成31年度までに集中的に行う施策をまとめた「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、出生率の向上や、市民の定住・市外からの転入の促進につながるよう、さらなるまちの魅力向上の取り組みを進め、少子化や人口流出に歯止めをかけたいと考えております。一方、本市の児童・生徒数がピーク時に比べて半減している現状から、今後取り組む施策とのバランスを図りながら枚方市の基本方針を決め、学校統合を含む学校の配置の適正化に取り組んでいるものです。	2016/7/19	2016/8/29	教育環境整備室
保育料の多子軽減措置について	上の子の年齢に関わらず、2人目は保育料半額、3人目以降は無料にしてほしいです。保育料が安いならもう一人産もうという選択肢も出てくると思います。少子化の問題も少しは解決できるのではないのでしょうか。	多子世帯の保育料軽減につきましては、平成28年4月から国の制度改正に伴い、年収約360万円未満相当の世帯については現行の年齢による制限を撤廃し、生計を一にする子どもであれば最年長者から1人目と数え、2人目以降の軽減を適用しております。今後も、子育てと仕事の両立支援として待機児童対策を推進するなど、安心して楽しく子育てできる環境の充実を図るとともに、多子世帯の保育料軽減のあり方につきましても検討していきたいと考えております。	2016/7/19	2016/8/29	保育幼稚園課
街かどデイハウスの拡充停滞について	「街かどデイハウス」の拡充方針が出されたにも関わらず、平成25年度の10軒目の開設から増設が見られません。何か理由があるのでしょうか。	本市では、平成26年度以降も毎年度、街かどデイハウスの増設に向けて、「枚方市街かどデイハウス事業補助事業候補者の募集」を行っておりますが、当該募集に対して選考基準の要件を満たす応募者がおられないことから、街角かどデイハウスの増設には至っておりません。	2016/8/15	2016/8/17	長寿社会推進室
マイナンバー制度における情報連携について	児童手当の受給手続きに、所得証明資料や健康保険証の写しを必要とされていますが、マイナンバーでわからないのでしょうか。	平成28年1月より、児童手当の申請書類にマイナンバー記載欄を設けておりますが、情報提供ネットワークを利用して、地方自治体間で情報の提供・照会を行うことができるのは、平成29年7月からとなります。現在、平成29年7月から可能となる情報連携に向けて、国および地方自治体で、法の整備・運用体制の構築等を進めているところです。	2016/8/18	2016/8/19	年金児童手当課